

調査番号

81

| | | | |
|-----|------------|---------------|--------|
| 事業名 | 障害者職業能力開発費 | 財務コード (事業) | 658104 |
|-----|------------|---------------|--------|

| | |
|------|----------------------|
| 細事業名 | 障害者就職支援コーディネーター設置事業費 |
|------|----------------------|

| | | |
|-------|----------------------------|------|
| 担当部課室 | 産業労働 部 産業人材 課 人材育成 担当 (内線) | 4856 |
|-------|----------------------------|------|

事業の概要

| | | | |
|-----------------|--|---|-------------------------------|
| 実施期間 | 始期 H18 年度 ~ 終期 年度 | | |
| 実施主体 | 県(直営) | | |
| 事業の目的 | 誰(何)を対象に 障害者を対象とした職業訓練の訓練生 | その対象をどのような状態にして 個々の障害に応じた、きめ細かい就職支援を受けている。 | 結果、何に結びつけるのか 就職による障害者の自立支援 |
| | 障害者対象の委託訓練等を実施する就業支援センターに、障害者就職支援コーディネーターを設置し、きめ細かい就職支援を行い、障害者の自立支援を図る。 ・ハローワーク、ジョブカフェ及び障害者職業センターでの情報収集 ・委託先訓練施設等における訓練生の就職相談及び情報提供 ・企業訪問による就職先企業の開拓 ・企業ニーズと訓練生の希望職種や就業条件のマッチングのための調整 ・訓練終了後の未就職者に対する就職支援 [平成24年度] ・求人情報収集件数 216件 ・就職相談件数 271件 ・事業所訪問延べ件数 109件 ・マッチング件数 73件 ・マッチングによる就職者数 32名 | | |
| 事業の内容主に 24年度 | | | |
| 根拠法令等 | | | |

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 事業の実施状況と 目標の実現度 | 23年度 | 24年度 | | 25年度 | 26年度 | 事業目標の考え方 |
|--------------------------------|----------------------|--------|-------|-------|-------|--|
| | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 見込値 | 目標値 | |
| 活動指標 事業所と訓練生の マッチング件数 | 79 | 80 | 73 | 80 | 80 | 活動指標 目標設定の考え方 事業所と訓練生のマッチングに係る 過去3年間(H21~H23)の活動量の 平均値 データの出典等 就業支援センターからの報告数値 |
| | 活動指標達成率 (実績値/目標値) | 91.3 % | | | | |
| 成果指標 訓練生就職率 | 50.0% | 53.6% | 50.0% | 55.8% | 57.9% | 成果指標 目標設定の考え方 第9次職業能力開発計画の目標数 値に基づき設定 データの出典等 就業支援センターからの報告数値 |
| | 成果指標達成率 (実績値/目標値) | 93.3 % | | | | |
| 決算額、予算額 | 1,775 | | 1,707 | 1,730 | 1,707 | 成果指標によらない成果 |
| (千円) うち一財額 | 1,775 | | 1,707 | 1,730 | 1,707 | |
| 所要時間(直接分) | 60 時間 | | 60 時間 | 60 時間 | 60 時間 | |
| 所要時間(間接分) | 0 時間 | | 0 時間 | 0 時間 | 0 時間 | |
| 所要時間計 | 60 時間 | | 60 時間 | 60 時間 | 60 時間 | |
| 人件費1st 単位:千円 (@2,050円×所要時間) | 123 | | 123 | 123 | 123 | |

これまでの事業の見直し・改善状況

| |
|----|
| なし |
|----|

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

| | | |
|------------------------------|----------------|--|
| 数値判定 H24年度 活動指標 達成率 | 活動量に係る 一次評価 | 活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること |
| b | b | |

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

| | | |
|------------------------------|---------------|--|
| 数値判定 H24年度 成果指標 達成率 | 成果に係る 一次評価 | 成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること |
| b | b | H24年度の県内有効求人倍率は0.66倍と、障害者のみならず求職者全体にとって依然厳しい状況が続いているが、このような雇用状況の中でも成果指標をおおむね達成しており、意図した成果をほぼ上げていると評価できる。 |

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

| 一次評価(担当部評価結果) | | |
|---------------|-----|-------------|
| 見直しの必要性 | 説 明 | 以外の 判断項目 |
| 無 | | |

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

| 見直しの必要性 | 説 明 | 以外の 判断項目 |
|---------|-----|-------------|
| | | |

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

| 見直しの方向 | 具体的な実施計画等 |
|--------|-----------|
| 現行どおり | |

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。